

金沢市議会の議員定数検討会の答申

「意見の一致には至らず」「引き続き議論」

答申を尊重するよう申し入れる

12月17日、日本共産党市議員団は、議員定数についての申し入れを市議会議長と、市議会の各会派に行いました。

金沢市議会は、各会派から選出された10名で構成された定数検討会が今年1月から9回にわたって、調査・検討を行ってきました。そして、12月15日検討会の答申を議長に行ったところです。

以下、申し入れの内容

この間、2回にわたって講師の話をお聞きしたが、そのうちの北九州市立大学の濱本真輔氏は、①人口②面積③財政は各指標を利用④地域の多様性・地区数⑤政治参加のコストを数値化したものを示し、その上で「金沢市議会の議員定数40について、これ以上定数削減の必要はないと考える」との意見が表明された。

これを受けての定数検討会では、さまざまな意見が交わされたが、意見の一致はみられなかったとし、まとめとして「議論を継続する必要がある」との付帯意見が記された。



議員定数2名削減の議案が提出

— 12月24日に採決の予定 —

市議会の会派である政心研・金沢(5人)が、現在の議員定数40人を2名削減し、38名とする議案を提出しました。この議案が各会派の議論を経て12月24日最終日の本会議で採択されることになります。共産党市議員団は、議員定数が削減されることは、市民の意見を届け、議会のチェック機能が後退するとして、現在の40名の定数をこれ以上削減しないよう取り組んできました。

日本共産党 金沢市議員団ニュース
No.299 2014年12月17日
日本共産党金沢市議員団
金沢市広坂1-1-1 金沢市役所内
TEL 076-220-2407 FAX 076-260-6588
ホームページ 金沢市議員団 →検索 →実行
Eメール jcp.kccd@space1an.ne.jp